

市長定例会見

2023年1月12日

今日お伝えしたいこと

1. 新型コロナウイルス感染症対策

2. SDGs貢献都市 神戸 の実現を目指して

- ・ KOBE里山SDGs戦略
- ・ 神戸SDGs表彰の創設

新型コロナウイルス感染症対策

直近の陽性件数推移

※発表日基準で集計

		金	土	日	月	火	水	木	累計
直近	1/6~1/12	1月6日	1月7日	1月8日	1月9日	1月10日	1月11日	1月12日	
	感染者数	2,715	2,807	3,036	2,178	1,085	877	2,972	15,670 (先週比 190%)
1週前	12/30~1/5	12月30日	12月31日	1月1日	1月2日	1月3日	1月4日	1月5日	
	感染者数	2,174	1,429	971	871	745	958	1,094	8,242 (先週比 64%)
2週前	12/23~12/29	12月23日	12月24日	12月25日	12月26日	12月27日	12月28日	12月29日	
	感染者数	2,007	1,792	2,020	1,374	720	2,767	2,286	12,966 (先週比 113%)

市内の医療提供体制と感染状況

現在、兵庫県は **フェーズV** です。

1/11 時点

神戸市の 現在の状況

確保病床の使用率

71% (308/433床)

重症者用病床の使用率

49% (26/53床)

(うち、重症者 **19%** (10/53床))

新規感染者 週感染者数

(人口10万人あたり)

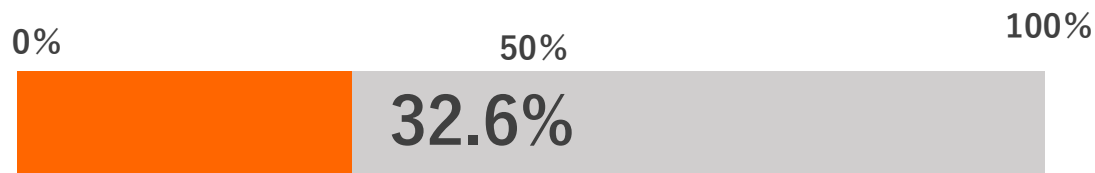
905.6人 (1/5~1/11)

ワクチン接種実績 (1/10 現在)

○オミクロン株対応ワクチンの接種実績

接種人数 **493,353人**

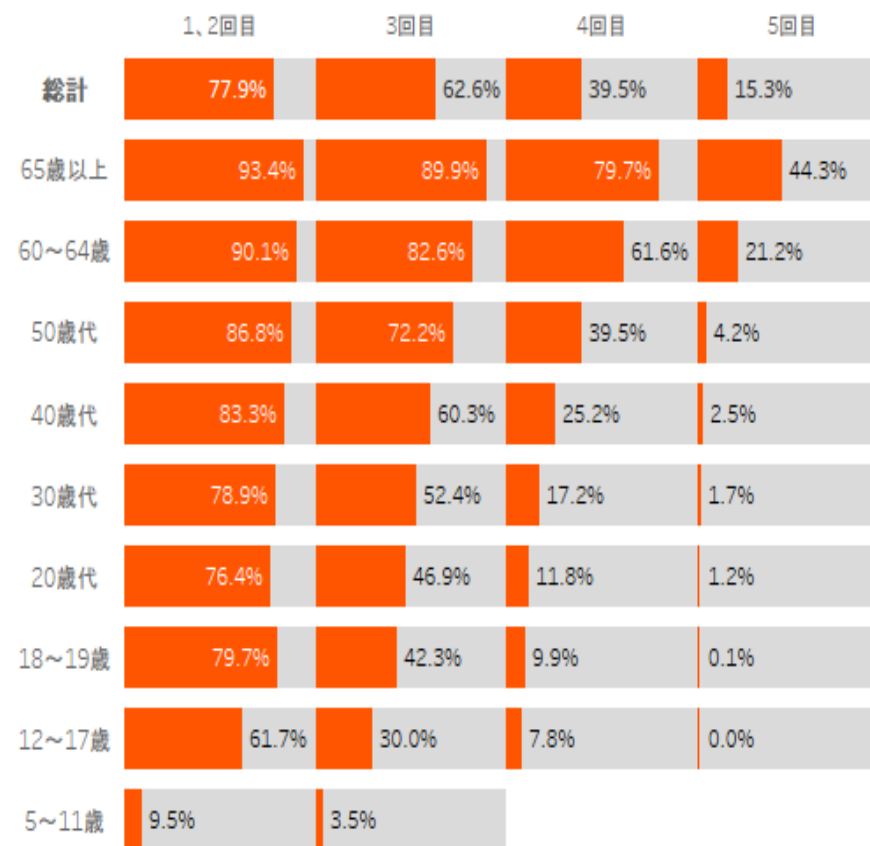
市人口（1,512,174人中）に対する接種率



うち高齢者（65歳以上・434,285人中）の接種人数

242,161人（接種率 55.8%）

○1～5回目接種率



※従来株対応ワクチン（1価）及びオミクロン株対応ワクチン（2価）の接種実績に対する接種率

変異株の動向について

○ゲノム解析の状況（令和5年1月5日時点）

主な系統の構成割合	10/31 -11/6	11/7 -11/13	11/14 -11/20	11/21 -11/27	11/28 -12/4	12/5 -12/11	12/12 -12/18	12/19 -12/25
BA.2.3.20系統	1.0%	0.0%	1.6%	1.1%	4.3%	1.1%	2.5%	1.7%
BA.2.75系統	1.9%	3.1%	5.5%	4.2%	25.0%	14.1%	8.6%	18.5%
XBB系統	0.0%	1.6%	0.8%	0.0%	1.1%	2.2%	2.5%	0.6%
BF.7系統	1.0%	3.9%	1.6%	7.4%	7.6%	9.8%	11.0%	9.6%
BQ.1系統	1.0%	3.9%	2.3%	7.4%	4.3%	18.5%	19.0%	15.2%
BA.5系統 (BQ.1系統、BF7系統を除く)	95.2%	87.6%	86.7%	80.0%	56.5%	54.3%	56.4%	54.5%

※令和5年1月5日に市内で初めてXBB.1.5系統の感染が1例確認されました。

※発生届出日から陽性検体回収にタイムラグがあるため、数値が更新される場合があります。

KOBE里山SDGs戦略
~生物多様性を守り、育てるために~

“KOBE里山SDGs戦略” 策定の目的

BE KOBE

人の手が入り続けることで維持されてきた自然＝里山



里山の豊かな恵みを持続的に享受するため
目指すべき里山の実現に必要な方策を明らかにする

目指すべき里山

BE KOBE

多種多様な動植物を育み、

人と自然が共生する里山の価値が多くの人々に共有され、

保全・管理・利用が継続的に行われることで、

生物多様性がもたらす多様な恵みを持続的に享受できる里山

里山が抱える様々な課題

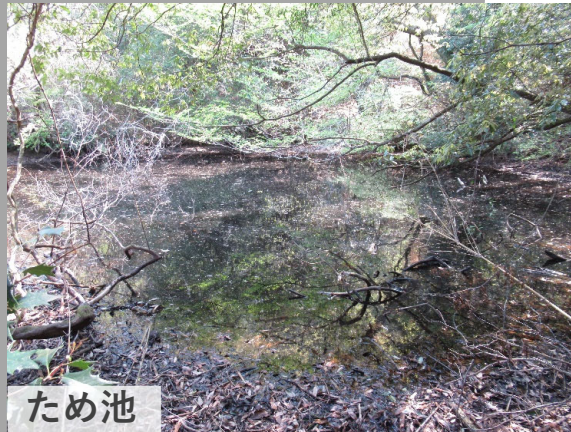


竹林

放置された里山資源



耕作放棄地



ため池



外来生物の侵略
(アライグマ)

外来生物・有害鳥獣問題



有害鳥獣による食害
(ニホンジカ)

課題解決に向けた3つの戦略

里山を「知る」

- 魅力発信
- 生物多様性の普及啓発
- 外来生物・有害鳥獣問題の普及啓発

里山を「まもる」

- 保全区域の認定・制度構築
- 生物のモニタリング
- 森林・農地・草地環境の保全
- 外来生物・有害鳥獣対策

里山活動を「つなぐ・ひろげる」

- 人材育成
- 活動支援
- カーボンニュートラル/資源の有効活用
- 保全活動をつなぐ仕組み

里山の生物多様性保全を推進

里山の恵みを持続的に享受

里山を「まもる」

保全区域の認定・制度構築

国際動向…国際目標 30 by 30 の採択（2030年までに各国において陸と海の30%以上の面積を保全）

<対象エリア> ①国立公園や国定公園などの保護地域

②「OECM(生物多様性の保全が図られていると認められる地域)」登録地(国が登録)

神戸市の里山保全区域



OECM登録地



環境DNA分析で多種多様な動植物の生息が確認できる

OECM登録地以外も市独自で区域認定



地域において大切に維持管理されている

地権者

神戸がつなぐ



保全活動者



区域ごとに保全計画を策定

里山を「まもる」

BE KOBE

生物のモニタリング



森林・農地・草地環境の保全



外来生物・有害鳥獣対策



里山活動を「つなぐ・ひろげる」

BE KOBE

里山保全ための人材育成



活動支援



カーボンニュートラルの推進
資源の有効活用





神戸の財産である里山を

あらゆる主体の参画により守り育てていく

神戸SDGs表彰の創設

目的

SDGs(持続可能な開発目標)の実現に向け
市民や企業のSDGsへの意識向上と行動変容の促進

対象の活動

- ・ 自然共生 (生物多様性の保全・外来種対策など)
- ・ 脱炭素 (温室効果ガス削減・グリーンイノベーションの推進など)
- ・ 資源循環 (海洋プラスチックの削減など)



表彰の種類

○神戸SDGs大賞

50万円

革新的な活動を行い、功績が極めて顕著な団体又は個人

○神戸SDGs功労賞

10万円

長年にわたり活動し、功績が顕著な団体又は個人

○神戸SDGs奨励賞

30万円

先進的な活動を行い、今後の活躍が特に期待される新進気鋭の団体又は個人

スケジュール

BE KOBE

1月16日

募集開始

2月15日

募集締切

2月中旬～3月中旬

選考

3月下旬

表彰

この海と山を未来につなぐ



SDGs 貢献都市 神戸

BE KOBE